

馬電菱の実会だより (No. 36)

平成8年度を迎えて

菱の実会発足10周年の
平成8年度は、菱の実会発足10周年の年を迎えました。

平成8年3月末の会員数も109名となり、さらに会員予備軍である馬電定年退職予定者は、平成8年度20名、9年度21名と今後加速度的に増えることが予測されます。

そうなりますといままでにも増して会員のニーズの多様化と内容の充実さが求められてくると思いますが、役員一同、本会の目的である「会員相互の親睦と啓発」を通して、すこしでも皆さん的人生の一助になればといった気持ちで努力したいと思います。

しかし充実した活動をするためには、何といっても会員の皆さんからの提案と参加が不可欠だと思いますので今後ともぜひご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

グランドゴルフ愛好会から

本愛好会の3月度の活動は、18日(月)のねずみ塚公園における月例会の実施と、24日(日)の群馬県・尾島町主催の県グランドゴルフ交流大会への菱の実会チーム(選手5名)の参加でした。

とくに後者は、今年11月に行われる第9回全国スポ・レク祭のグランドゴルフ大会の会場となる、新装なった利根グランドゴルフ場でリハーサルを兼ねて開かれた大会に参加したものです。

第4回(春季)グランドゴルフ大会 開催のお知らせ

上記大会を次の要領で開催しますので、ぜひご参加下さい。なお大会ですので参加希望者は申し込みが必要です。

記

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ●日時 4月22日(月) 午前9時より | ●会場 利根グランドゴルフ場 |
| ●会費 1人 500円 | ●申込 4/18(木)までに事務局へ |

お知らせ

- (1) 菱の実会発足10周年記念式典を兼ねた今年度の総会・懇親会は5月27日(月)です。詳しい開催案内は郵送しますが、いまから予定に入れておいて下さい。
- (2) 記念式典以外の記念行事についても内容を検討していますので、これも決り次第ご案内いたします。その節はぜひご参加のほどを…。
- (3) 3月23日に鈴木 英雄さん(熊谷市)が喜寿を迎えたので、菱の実会から花束をお送りしました。

トピックス

全国シルバー将棋 群馬県大会で 白井さん 優勝す!

3月25日付上毛新聞に、菱の実会員の白井敬郎さん（太田市）が上記大会で優勝した記事が大きく掲載されました。（下記記事参照）

白井さんは馬電在職中にも囲碁・将棋ではナンバーワン（しかもズバ抜けて）の実力の持主であったことは皆さんもご存じの通りであります。

会員の方がたが、定年後も元気にご活躍の様子を知ることはうれしいことです。そこでこの機会に白井さんに近況や今後の抱負などを伺いました。

白井敬郎さんの話 若かった頃と比べると、力を維持するのはだんだんとむずかしくなってきました。でも将棋は囲碁とちがって、練習を怠るとすぐに力が落ちてきますし、また一手でもおろそかにできない集中力と緊張感のあるところが、私は好きです。

白井さん（太田支部）2度目の王座

太田で有段者ら45人が熱戦



白井さん

六十歳以上の将棋愛好者による第三回全国シルバー将棋名人戦県大会（日本将棋連盟県支部連合会主催、上毛新聞社後援）が二十四日、太田市社会教育総合センターで開かれ、四十五人の有段者らによる熱戦を太田支部の白井敬郎さん（六三）が制し、全国大会出場の権利を手にした。白井さんは第一回大会に続き二度目の王座。

全国シルバー将棋県大会

現在の力をすこしでも維持するため心がけていることは

①プロ対局の竜王戦の第1局は、いつも海外で行われるので、この観戦ツアーに参加する。

②地方では、どうしても実戦不足になるので、月に2・3回は東京方面へ出かけ、実戦の勘を失わないようになります。

③かって購入したままだった専門誌を（いまは時間もあるので）あらためて読んでみる。ということなどです。

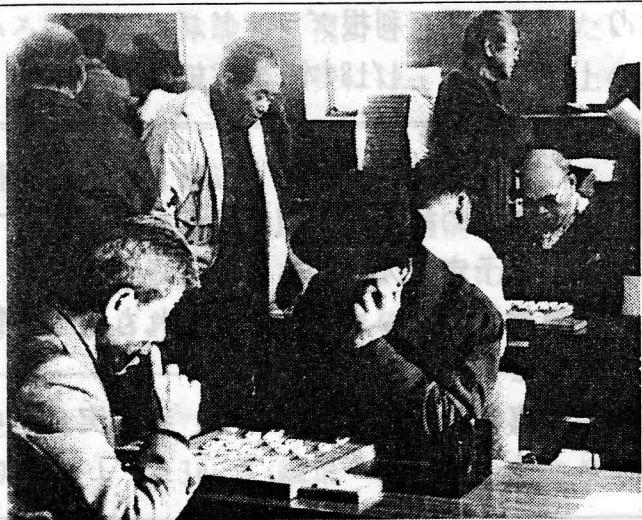
カラオケ
平成8年月
お知り

カラオケ
月例会は毎
曜日に健け
荘 YOU遊
午後5時
います。
平成8年
開催予定
りです。

4月
5月
6月
7月
8月
9月

ぜひご

シルバー県大会と、並行して開かれた第二十五回全国支部対抗戦・支部名人戦将棋大會の結果は次の通り。
【シルバー名人戦】
白井敬郎（太田）▽準優勝
金子良作（桐生）▽三位
加藤典男（同）星野邦雄（太
桐生、館林北）
井田（太田）▽準優勝
好夫（沼田）清水俊雄（桜名
都橋）
【支部対抗戦】
井田（太田）▽準優勝
高橋（太田）▽三位
政司（シード）▽三位
高橋（太田）▽三位
【支部名人戦】
山口（甘樂）▽準優勝
都橋（太田）▽三位
高橋（太田）▽三位
【シード】
都橋（太田）▽三位
高橋（太田）▽三位
井田（太田）▽三位
桐生（太田）▽三位
館林北（太田）▽三位



む金子さんを、白井さんが冷
静にかわし切り、百十七手で
勝負を決めた。
棋磨四十年以上の白井さんは
将棋を続けてきた理由は
「部分だけでなく、全盤を見
る力を持つため」。現在は
太極拳を習うなど体力トレー
ーニングにも励んでいる。
全国大会は五月十八日から三
日間、箱根・ホテル花月園で
開かれる。

会員投稿

私の近況 尾島町 宮下玉吉

私の近況報告なんて言ったところで、別にこれといってお話しするものはありません。ごく自然な近頃の様子を報告させていただきます。

最近になって一番注意していることは、何といっても心身の健康です。

今の状態は「まあまあ」です。知人からも「いつもお元気で良いですね」と言われますが、じつは仲々そうでもないのです。

平成4年6月に腸閉塞で開腹手術を受けた後は、数ヶ月休養して徐々に回復したが、そのあと町の検診で貧血症と言われ、食生活によるご指導を受けております。

その影響か、指先が特に冷えて、毎年12月頃から翌年2、3月頃までに収穫する大和芋の掘り取り作業や、朝のどろ芋の水洗い作業は大変苦手となっています。家族は「もう年なんだから、思いきってやめたら」と言われますが、芋作りをしていると、良い芋ができたときの満足感が魅力となり、仲々やめる決心がつかないものです。しかし今年からは作付けを減らして、寒冷にならぬうちに終了するようにしようと考えています。

平成6年4月から村の老人会の役員に推され、会計をしておりますが、結構忙しくやり甲斐もあります。会員数も尾島町で一番多く120名で、町の福祉Gや尾島町老連などの諸行事に参加し協力することも多いが、年に1回の2泊3日の研修旅行は会員にとって一番楽しみにしており、足腰の弱い方も参加されるので、どこにするか行き先を決めるのに大変苦労しました。

平成6年8月は長野県丸子町「ホテル川代館」35名参加、平成7年9月は塩原温泉郷「那須塩原グランドホテル」36名参加し、無事終了しました。旅行の反省会も盛況で、全員集まり参加者の「今年は良かった。来年もまた是非お願ひしたい」との声に、私にとっては最大の喜びであり、心の支えとなり、励ましになりました。

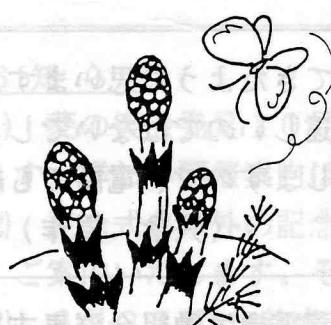
一方ゲートボールは民生委員の時に習い覚え、老人会では立場の上から監督になり、部員15名をシーズン中の六ヶ月にわたり週2回、朝6時から7時の1時間、神

社に集合し、境内を清掃したあと、練習を重ね、平成7年の秋の大会には35チーム出場の中、第3位に入賞する好成績を上げ、会員相互の団結と融和を図り、会員の大きな寄りどころとなりました。

人間は一人では生きていけない動物と言われますが、多くの人と交わり、ともに語り、励まし合っていくことの大切さをしみじみと感じた次第です。

最後に気遣いな健康維持も、積極的に健康診断を受け、早めに対応したいと思っています。

以上



愛好会
月例会の
らせ

愛好会の
月第一月
会館「睦
ール」で
ら行

度前半の
は次の通

日
日
日
日
日

加を!

新会員紹介

清龍 亀三郎さん (平成8年3月15日定年)

住所 尾島町堀口 1297-3 ☎ 0276-52-0282

昭和43年8月に入社し、工具係（現工機係）に配属になり、切削工具研削、旋盤、金型の磨きなどの作業を経て、平成8年3月を以て無事定年を迎えることができました。

在職中の27年間、仕事の面だけでなく、卓球、ソフトボール、またゴルフと、スポーツを通じて若い人たちや仲間の皆さんとコミュニケーションができましたことは、私にとって大きな喜びと深く感じております。

退職後は、今までできなかった妻への奉仕（？）、また地域の人たちと交流を図り、第二の人生をエンジョイしていく所存です。菱の実会の先輩の皆さん、今後ともよろしくお願ひ致します。



橋本 己代司さん (平成8年3月15日定年)

住所 尾島町堀口 1239-7 ☎ 0276-52-0551

昭和36年に入社し、平成8年3月まで約35年間勤務し、満50歳で退職を希望致しました。

職務については、特電工場から小型温水器、電子レンジ等を経験した後、昭和61年4月に電子レンジがMHKに移管となり、電子レンジとともにMHKに出向となりました。

MHKでの任務は、電子レンジの立ち上げはもちろん、その後も埼玉電機太田工場も含めて工作部門で努力してまいりました。

在任中は菱の実会の皆様に大変お世話になりました。勤務期間を10年残しての退職理由としては、二人の息子も社会人に成長したことで、さらにいろいろな仕事を体験し、視野を広めていきたいと考えたことです。

今後も菱の実会の皆様には、今まで以上のご指導をお願い致します。



編集後記 最近、会員の活躍や交流のニュースが多くなってきたように思います。

会員の皆様も、あなたの情報満載の菱の実会だよりが待ち遠しいのではないでしょうか。皆様がたからの楽しい日常のニュースをどんどん紹介しますので、電話でも結構ですからあなたの近況も事務局へお知らせください。 (宍倉 周作)

発行

発行責任者 斎藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

1996-4-1 No.36

編集「菱の実会だより」編集委員会

電話 0276-52-3874